

奈良新『都』づくり戦略 2022



©NARA pref.

奈良県
令和4年2月発行

はじめに

知事就任以来、知恵と工夫を凝らして、直面する県政課題に全力で取り組んでまいりました。その結果として、県立病院の整備、幹線道路の整備、工場誘致の進展、障害者を含む雇用の増加、ホテル数の増加など、様々な分野で、取組の成果が現れてきています。

一方、リニア中央新幹線の大阪までの開業、「奈良市附近駅設置」が、15年後に迫ってまいりました。15年というのは、奈良県のこれからを考えるうえで、決して遠い将来ではありません。

リニア中央新幹線「奈良市附近駅」の設置と関連する事業の実現を基軸にして、様々なアイデアを盛り込んだ「奈良新『都』づくり戦略2022」をこれからの奈良県政発展の目標と道筋として、「もっと良くなる奈良県」の実現に引き続き全力でチャレンジしてまいります。

令和4年2月

奈良県知事 荒井正吾

リニア中央新幹線「奈良市附近駅設置」と関連する事業の実現

15年後に迫ったリニア中央新幹線「奈良市附近駅設置」と五條市の大規模広域防災拠点の整備、リニア中央新幹線「奈良市附近駅」－関西国際空港接続線のリニア関連3点セットの実現

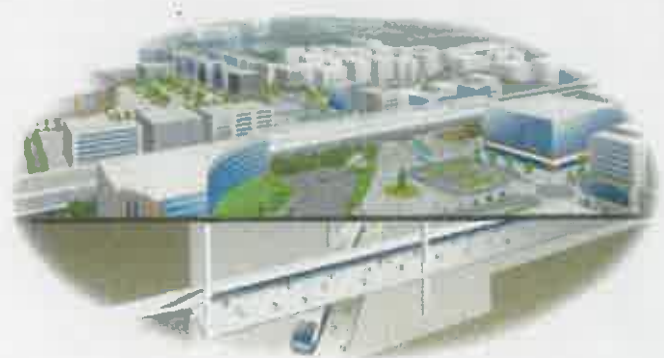
2037年(15年後) リニア中央新幹線全線開業・「奈良市附近駅」の設置



※リニア中央新幹線建設促進期成同盟会パンフレットを基に作成



リニア中央新幹線 L0系改良型試験車



リニア駅周辺のまちづくり(イメージ)

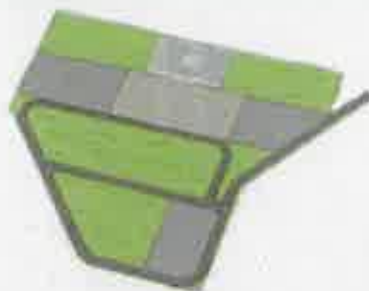
関連テーマページ:(49) リニア中央新幹線「奈良市附近駅」の早期確定と関西国際空港接続線(P.86)

五條市に大規模広域防災拠点を整備

南海トラフ巨大地震等に備え、紀伊半島全体の救助・支援活動拠点として、**2,000m級滑走路を有する大規模広域防災拠点**を整備します。

大規模広域防災拠点の段階的整備

I期: 5haの平場を有する広域防災拠点



II期: 600m級滑走路を有する大規模広域防災拠点(約46ha)



III期: 2,000m級滑走路を有する大規模広域防災拠点(約73ha)



◆概算事業費
II期整備まで 約240億円
III期整備まで 約720億円

五條市に建設予定の大規模広域防災拠点の整備に、リニア中央新幹線の建設に伴う発生土を活用します。

リニア中央新幹線「奈良市附近駅」



大規模広域防災拠点
〈奈良県五條市〉

大規模広域防災拠点の整備に発生土を活用

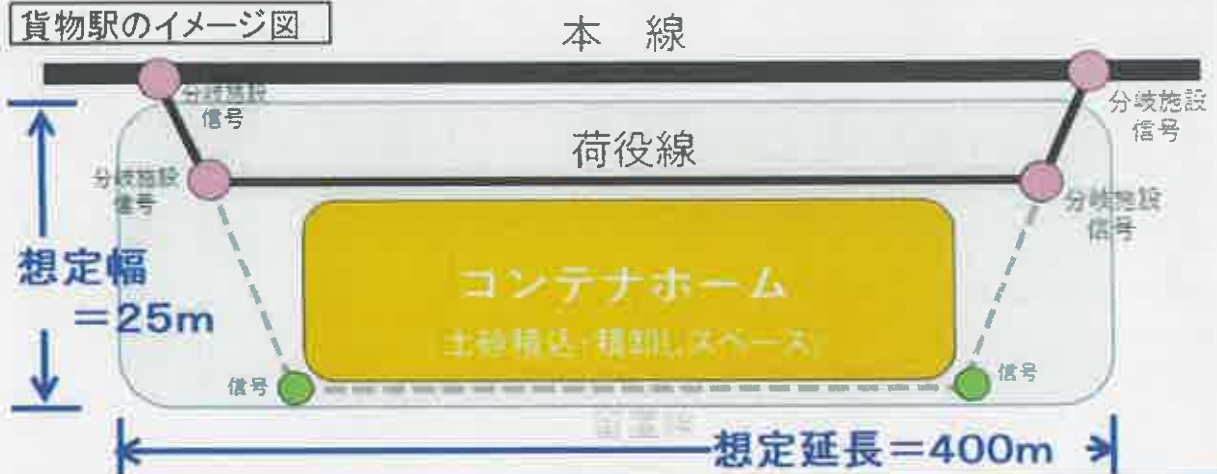


- リニア中央新幹線等の建設に伴う発生土を長期的・安定的に奈良市附近から五條市まで運搬する必要があります。
- 環境への配慮や脱炭素にも貢献する鉄道による輸送を検討します。
- 発生土の運搬に際し、一部バイパス線の建設や線形改良を実施します。

土砂運搬ルート全体図



貨物駅のイメージ図



リニア中央新幹線－関西国際空港接続線の整備

- 新線建設と在来線改良の組み合わせ方式で検討を進めます。(在来線活性化や事業費低減等の観点から、できる限り在来線を活用)
- 発生土運搬のために改良した線路も活用するとともに、和歌山線と関西国際空港を結ぶルートの新設します。
- 関西国際空港からのインバウンド観光客や、関東・中部地域からのリニア利用者を、本県の世界遺産等に連続的に取り込むとともに、リニア中央新幹線と近畿南部の観光地を結ぶ、より広域な観光ルートを形成します。



整備費:1,900億円程度(全路線長100km強)

※整備新幹線や過去の在来線改良事例を基に試算。車両調達費等は含まない。

新線建設:法隆寺駅付近～畷駅付近

紀の川市駅付近～JR関西空港線合流部



関連テーマページ:(49) リニア中央新幹線「奈良市附近駅」の早期確定と関西国際空港接続線(P.86)

(49) リニア中央新幹線「奈良市附近駅」の早期確定と関西国際空港接続線

ここまで良くなりました

「奈良市附近駅」位置及びルートの早期確定に向け、調査・検討や要望活動を実施しました。

リニア中央新幹線と関西国際空港を接続する構想について、調査・検討を実施しました。

■リニア中央新幹線ルート概念図



○リニア中央新幹線建設促進奈良県期成同盟会や三重・奈良・大阪リニア中央新幹線建設促進大会等において、国やJR東海への要望を実施

もっと良くするために

2037年の全線開業に向け、JR東海が駅位置・ルートの公表に向けた準備を速やかに進められるよう、**誠実な信頼関係に基づく協力・連携**をJR東海と進めます。

「奈良市附近駅」と関西国際空港を直結する**リニア中央新幹線・関西国際空港接続線構想の具体化**に向けた検討を進めます。

- 「奈良市附近駅」の候補地として3市が提案している5箇所につき、想定ルート等に関する調査・検討を引き続き実施
- 「奈良市附近駅」の早期確定をめざし、JR東海と協議
- 奈良県は、①用地取得、②工事に伴う発生土の処分地の確保、③住民の方のご理解、④リニア駅を中心としたまちづくりの取組を通じて、全面的に協力
- リニア中央新幹線建設促進奈良県期成同盟会等において、国やJR東海に対し要望活動を引き続き実施

- 新線建設と在来線改良の組み合わせ方式で検討(在来線活性化や事業費低減等の観点から、できる限り在来線を活用)
- 主な経由地は、大和高田市、御所市、五條市、橋本市、紀の川市を想定
- 関西国際空港からのインバウンド観光客や、関東・中部地域からのリニア利用者を、本県の世界遺産等に連続的に取り込むとともに、リニア中央新幹線と近畿南部の観光地を結ぶ、より広域な観光ルートを形成

令和4年度予算案 25百万円